

令和元年10月10日
岐阜県立飛騨高山高等学校
国土交通省高山国道事務所

ビオトープ“飛騨の森再生”における秋の昆虫類調査 ～飛騨高山高校3年生がバッタの種類から草地周辺の環境状況を調査します～

PRポイント

地元高校生が課外授業の一環として秋に見られる昆虫類のうち、バッタの捕獲調査を行います。生息環境が比較的知られているバッタの種類を確認することで、ビオトープのうち草地や林縁部がどのような環境になっているかを確認します。

- 概要** : 高山西IC内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”において、平成22年度から飛騨高山高校生徒が環境学習を実施しています。
今年度5回目の実施になる今回は、ビオトープ内において秋によく見られる昆虫類（バッタ）の捕獲調査を行い、バッタの種類を確認することで、ビオトープの草地や林縁部の環境状況について簡易評価を行います。
- 日時** : 令和元年10月16日（水）14:00～16:00
【雨天中止】
- 場所** : 中部縦貫自動車道高山清見道路 高山西インターチェンジ内
ビオトープ“飛騨の森再生”（高山市清見町牧ヶ洞地内）
- 参加者** : 岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 3年生6名
- 添付資料** : 別紙1～3のとおり
- 配布先** : 高山記者クラブ
- 問合せ先** : 岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス
環境科学科 原 康彰（はら やすあき）
TEL 0577-33-1060
FAX 0577-32-8994

国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所
計画課長 大崎 義保（おおさき よしやす）
TEL 0577-36-3822
FAX 0577-36-3801



学習内容

今年度5回目となる実習は、環境科学科3年生6名が参加して、ビオトープ内において秋によく見られる昆虫類（バッタ）の捕獲調査を行います。

平成16年11月の完成以降、平成17～21年と平成26年（整備後10年経過）に生物のモニタリング調査を行っています。高校生の実習を含めた調査により、ビオトープでは現在までに計11種のバッタが確認されています。

（日本国内では119種（平成18年時点）、岐阜県内では42種（平成30年時点））

ビオトープで秋季によく見られるバッタの例



トノサマバッタ



イナゴモドキ



ヒナバッタ



クルマバッタモドキ



コバネイナゴ

バッタとは

バッタとは、バッタ目というグループのうちバッタ亜目に該当する昆虫です。同じバッタ目には他にコオロギ亜目（キリギリスやコオロギの仲間）があります。

バッタの捕獲調査

バッタの仲間は、昆虫の中でも生態や生息環境が比較的良好に知られています。海岸から高山まで幅広く生息していますが、中でも草地に生息する種が多く、種によって好む草原のタイプ（湿った場所、乾燥した場所、草丈が深い場所、地面が見える場所）が異なります。さらに樹林に適応した種もいることから、環境を指標する生物として、環境の状況を評価する材料として使われることがあります。

今回の学習では、バッタの採集方法や判別方法を学ぶとともに、確認できたバッタを用いて現在のビオトープの草地や林縁部の環境状況について、簡単な評価を行います。

昨年度の学習状況(平成30年10月1日実施)



【バッタの採集状況】



【バッタの採集状況】



【採集したバッタの分類】

高山西 I C ビオトープ “飛驒の森再生”

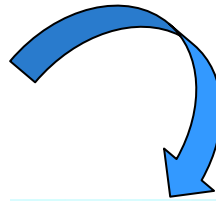
ビオトープ “飛驒の森再生” 整備

中部縦貫自動車道高山清見道路の建設により、動植物の生息・生育環境が分断され、従来の自然環境が大きく変化する可能性があります。そのため、インターチェンジ内を『飛驒の森再生』として位置付け、調整池の自然利用及び周辺植生の遷移促進を含めた計画をし、平成16年11月に高山清見道路（飛驒清見 I C～高山西 I C）の供用と同時にビオトープが完成しました。

さらに、平成22年7月には、飛驒高山高等学校と高山国道事務所で「維持管理に関する協定」を締結し動植物の生息・生育環境創生に取り組んでおります。



整備直後(H16. 11)



現在の生育状況(R1. 5)

現在のビオトープの状況

完成してから15年が経過した調整池を含むインターチェンジ内の環境は大きく改善し、ビオトープに移植した根株・貴重植物ともに生育状況は良好です。また、周辺域から在来種も入り、ビオトープ内は調整池や植生の変化に併せて、両生類（カエル）や昆虫類（トンボやバッタ）などの定着も順調に進み、生物の多様化が進んでいます。

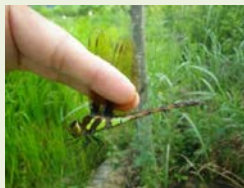
また、同校との協働による継続的な維持管理活動により、貴重な植物が繁殖又は再確認されるなど、様々な動植物の生息・生育環境が維持されています。

確認された重要種など

陸域

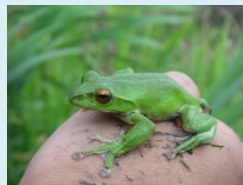


移植した重要種
(キキョウ)



確認された重要種
(マルタンヤンマ)

水域



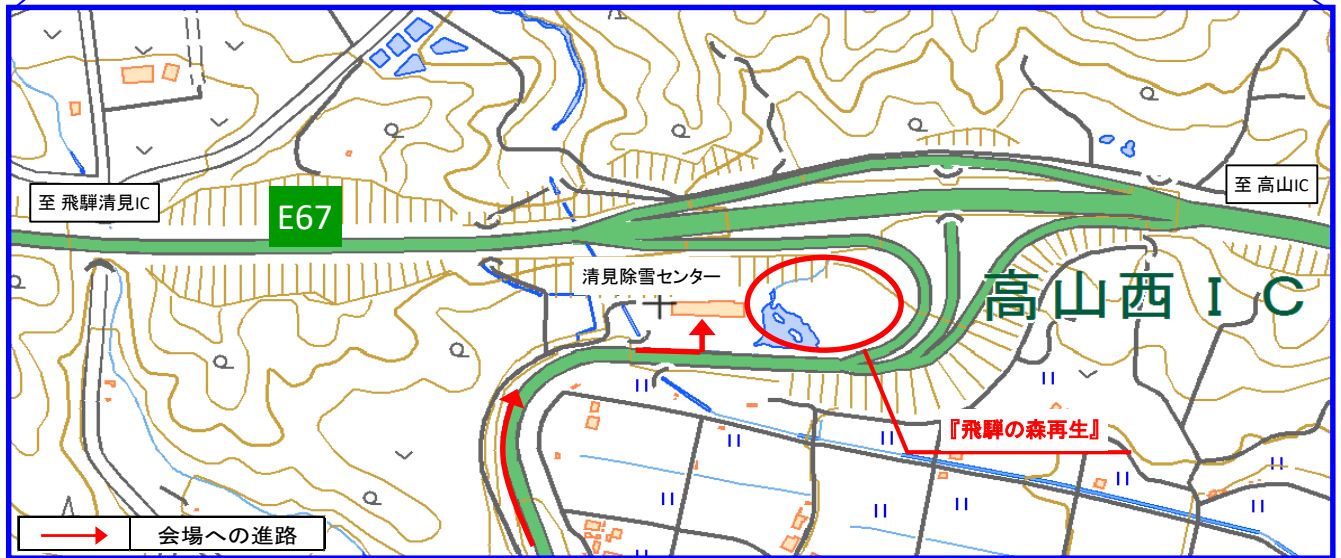
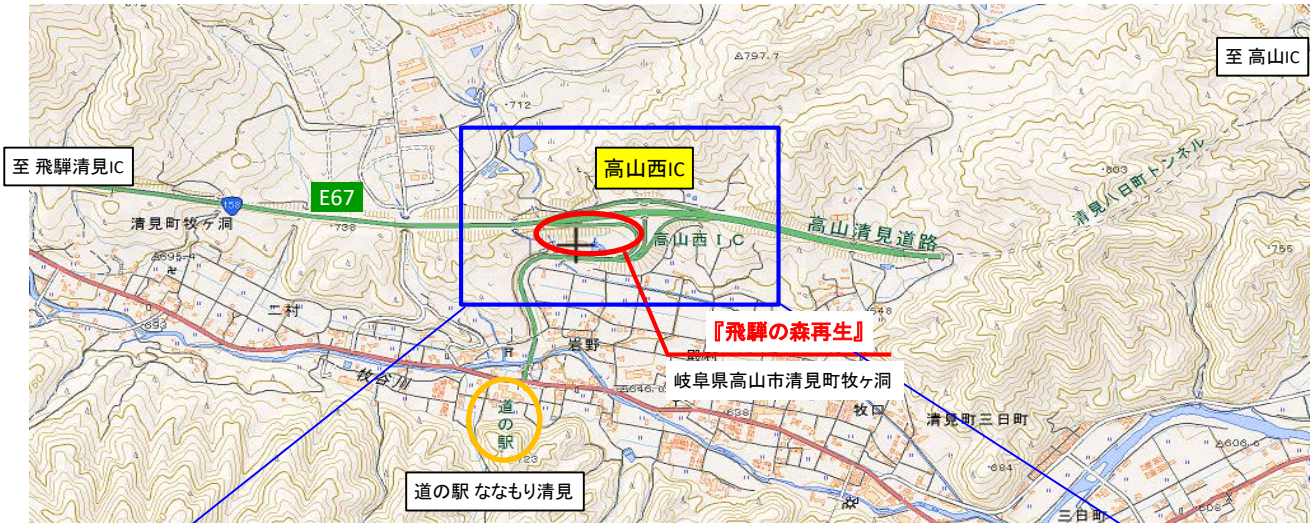
確認された重要種
(モリアオガエル)



確認された重要種
(ミズオオバコ)

環境学習 実施位置図

実施場所：高山西IC内ビオトープ「飛驒の森再生」



取材希望がございましたら清見除雪センターにお集まり下さい。